

八事山文庫

3001号

特集

三百回御遠忌によせて
……………2ページ
平成30年 年中行事
……………3ページ
興正寺の節分・星祭
……………4・5ページ

仏前で誓う永久の願い 御仏や両家一同の見守る厳かな一時



去る11月26日(日)、犬塚正主僧侶の挙式が興正寺西山本堂にて執り行われました。集まった大勢の方に祝福され、お二人は新たな一歩を共に踏み出しました。

杜のコラム

の料理を作り、二年を越せることを感謝するという風習もあるようだ。

大晦日の夕御飯、あなたはいつも何を食べるだろうか、食べただろうか。シンプルに、ちよつと天ぷらにこだわった年越し蕎麦だけという人もいれば、豪華に刺身やお寿司を楽しむという人。すき焼きなどの鍋を囲む人もいるだろう。地域によってはおせち料理を大晦日の晩からつくこともあれば、年夜料理といつて大晦日(年取り)のため

関わらず、仕事だという人もいるはずだ。

一月の別名として用いられる睦月の名の由来には様々あるが、家族親族が互いに往来し睦まじく過ごす「睦月」が最も有力である。年に一度しか顔を合わせない親族もいるだろう。古き時代の懐かしい思い出に笑い、今は亡き人たちの話に花が咲く。団欒の時の中で、ふと遠く彼方から連綿と続く生命の縁を感じ、その不思議に感謝の念が湧く。睦月はそんな「結ぶ月」であり、神道における「むすひ(産霊)」にも通じる季節である。天地・万物を生成し、発展させ、完成させる目に見えない働きのこと、新たな生、命の始まりをも表す。

縁起物を飾ることや、年始の行事の多くは「予祝」である。どうか健やかに穏やかに過ぎませう、豊作豊漁でありますよう。予めカタチにし、コトバにし、新たな未来を言祝ぐことが日本人の永く続けしてきた祈りの形だ。

大晦日、そして正月は、死と生、物事の終りと新たな始まり、その大なる輪の中繰り返しの中に生かされているちっぽけな自分を観ずるために巡ってくる禊のようなものなのかもしれない。ただただ祈り、感謝する睦月である。

1/1(月)・3(水)

初護摩祈祷会

西山本堂にて

過ぎし1年間の感謝とともに、新たな年への願いを込め、初護摩祈祷会を執り行います。皆様お一人お一人の願いと、新しい年の無事平安を祈ります。



1/21(日)

弘法堂初弘法お授戒

10時30分より 弘法堂にて

お授戒にて仏の示された戒めを阿闍梨さまより直接授かり、ご法話をいただきます。「仏の心の在り方」を説くのが「戒」の教えです。



◎定員 50名(当日先着順)
◎参加費 無料
※菩薩戒を授与致します。
途中入退場はできません。

1/5(金)

大般若経転読祈祷会

10時30分より 西山本堂にて

大般若経とは、全六百巻におよぶありがたい経典です。「転読」という特別な読み方にて、魔とケガレを吹きはらう梵風を起し皆様の願いが御仏に届くよう、僧侶は声が枯れるまで、できる限りの力を振り絞り祈願いたします。



【厄除仏石加持祈祷】
祈願料 三千元(散華五枚セット授与)

1/24(水)

成道会

14時より 西山本堂にて

お釈迦さまが悟りを開いたとされる旧暦十二月八日、お釈迦さまの成道(覚り)を開くことを記念した法会を厳修いたします。



1/6(土)・12(金)・18(木)

【無料】お坊さんダイレクト

毎月第1土曜・第2金曜・第3木曜
各日10時〜15時 完全予約制(各回50分ずつ)

仏事の疑問に僧侶がホッペで答える新スタイル相談会。墓じまい・仏壇じまいの疑問、永代供養・葬儀の相談などお気軽にお問い合わせください。
☆予約申込 WEBまたは電話にて

興正寺開山和尚Ⅲ天瑞圓照三百回御遠忌

— 興正寺開山天瑞圓照和尚に寄せて —

— 天瑞圓照和尚の足跡をたどる —

西山 海良

比丘、比丘尼と呼ばれる僧侶の生活は欲望を断ち、小欲知足の精神で生活を送ることが最も重要とされていました。そのような生活の中では、個人で所有できる物も厳しく定められていました。

その内容は、三枚の袈裟と食事をとるための鉄鉢ひとつ、これらを「三衣一鉢」と称し、これらに尼師壇(座具)と漉水囊(漉し器)を加えた六種の所有物が「比丘の六物」として所有を認められました。

現代の物に溢れた世界では、これだけの限られたもので生活を送るなんて考えられないことです。しかし当時の修行者たちは、極限まで無駄を省くことで、執着する心を離れ心の充実感、すなわち「安心」を得ていました。

開山和尚も、八事山興正律寺を開くにあたり、自らを厳しく律し日々の仏道修行をこの托鉢具一式と共に歩まれたことでしょう。「欲を小さく足るを知る」この精神こそ現代に生きる我々が学ばないといけない心の在り方ではないでしょうか。

合掌



— はじめに —

平成三〇年は、興正寺開山天瑞圓照和尚の三百回忌です。各地を歴訪する中で真言律宗の寺院建立を志し、縁あつてこの八事の地に「八事山遍照院興正律寺」を創建した和尚は、いかなる人物であつたのか。寺に伝わる文物からそれを紐解き、一年にわたりご紹介いたします。また、今年の興正寺カレンダーでも同内容を掲載しておりますので、ご覧いただければ幸いです。

カレンダー連動企画

【第一回】出家と修行 (平成30年1月カレンダーより)

興正寺開山天瑞圓照和尚は、摂津国西成郡難波伊勢藤堂家の末裔野田家の生まれで、武蔵国長慶寺で剃髪、出家しました。二十七、八歳の頃とされますが、それまでの確かな記録は残されていません。

摂津国から武蔵国へ移動するには、当時は東海道か中山道を経由したと推測されますが、その距離は四五〇キロを優に超えるものでした。

後に和尚は様々な仏像を彫像していますが、それらの造形がみごとことから、もしかすると長慶寺にたどりつくまでの間、仏師として過ごされていたのかもしれない。

この武蔵国を皮切りに、仏道に邁進し、各地を歴訪し、多くの人々と縁を結んでいきました。



平成30年興正寺カレンダー

開山和尚三百回忌記念の特別なカレンダーです。當山の年中行事もご案内しております。納経所・各窓口で数量限定で無料配布しております。この機会に是非ご覧くださいませ。



平成三十年 興正寺年中行事

[illegible]

☐マークの日は露店がございます。

◎マークの法会では、特別朱印授与がこざいます。

平成30年
年忌早見表

13回忌	平成18年逝去	33回忌	昭和61年逝去		
7回忌	平成24年逝去	27回忌	平成4年逝去		
3回忌	平成28年逝去	23回忌	平成8年逝去	50回忌	昭和44年逝去
1回忌	平成29年逝去	17回忌	平成14年逝去	50回忌	昭和44年逝去

平成30年戊戌歳 年齢早見表 (数え年)

九曜星	曜星早	上曜星	水曜星	金曜星	日曜星	火曜星	土曜星	月曜星	水曜星
吉凶	● 大凶	● 半吉	● 未吉	● 半吉	○ 大吉	● 大凶	● 大凶	○ 大吉	○ 大吉
九曜星	九曜星	一白水星	二黑土星	三碧木星	四绿木星	五黄土星	六白金星	七赤金星	八白土星
	辛酉 2013	辛酉 2017	辛酉 2016	辛酉 2016	辛酉 2014	辛酉 2013	辛酉 2012	辛酉 2011	辛酉 2010
	1 いぬ	2 とり	3 さる	4 びつじ	5 うま	6 へび	7 たつ	8 うさぎ	9 とら
	辛酉 2006	辛酉 2006	辛酉 2006	辛酉 2006	辛酉 2006	辛酉 2004	辛酉 2005	辛酉 2005	辛酉 2001
	10 うし	11 ねずみ	12 いのしし	13 いぬ	14 とり	15 さる	16 びつじ	17 うま	18 へび
	辛酉 2000	辛酉 1999	辛酉 1999	辛酉 1997	辛酉 1996	辛酉 1995	辛酉 1994	辛酉 1993	辛酉 1992
	19 たつ	20 うさぎ	21 とら	22 うし	23 ねずみ	24 いのしし	25 いぬ	26 とり	27 さる
	辛酉 1991	辛酉 1990	辛酉 1989	辛酉 1988	辛酉 1987	辛酉 1986	辛酉 1985	辛酉 1984	辛酉 1983
	28 びつじ	29 うま	30 へび	31 たつ	32 うさぎ	33 とら	34 うし	35 ねずみ	36 いのしし
	辛酉 1982	辛酉 1981	辛酉 1980	辛酉 1979	辛酉 1978	辛酉 1977	辛酉 1976	辛酉 1975	辛酉 1974
	37 いぬ	38 とり	39 さる	40 びつじ	41 うま	42 へび	43 たつ	44 うさぎ	45 とら
	辛酉 1973	辛酉 1972	辛酉 1971	辛酉 1970	辛酉 1969	辛酉 1968	辛酉 1967	辛酉 1966	辛酉 1965
	46 うし	47 ねずみ	48 いのしし	49 いぬ	50 とり	51 さる	52 びつじ	53 うま	54 へび
	辛酉 1964	辛酉 1963	辛酉 1962	辛酉 1961	辛酉 1960	辛酉 1959	辛酉 1958	辛酉 1957	辛酉 1956
	55 たつ	56 うさぎ	57 とら	58 うし	59 ねずみ	60 いのしし	61 いぬ	62 とり	63 さる
	辛酉 1956	辛酉 1955	辛酉 1954	辛酉 1953	辛酉 1951	辛酉 1950	辛酉 1949	辛酉 1948	辛酉 1947
	64 びつじ	65 うま	66 へび	67 たつ	68 うさぎ	69 とら	70 うし	71 ねずみ	72 いのしし
	辛酉 1946	辛酉 1945	辛酉 1944	辛酉 1943	辛酉 1942	辛酉 1941	辛酉 1940	辛酉 1939	辛酉 1938
	73 いぬ	74 とり	75 さる	76 びつじ	77 うま	78 へび	79 たつ	80 うさぎ	81 とら
	辛酉 1937	辛酉 1936	辛酉 1935	辛酉 1934	辛酉 1933	辛酉 1932	辛酉 1931	辛酉 1930	辛酉 1929
	82 うし	83 ねずみ	84 いのしし	85 いぬ	86 とり	87 さる	88 びつじ	89 うま	90 へび
	辛酉 1928	辛酉 1927	辛酉 1926	辛酉 1925	辛酉 1924	辛酉 1923	辛酉 1922	辛酉 1921	辛酉 1920
	91 たつ	92 うさぎ	93 とら	94 うし	95 ねずみ	96 いのしし	97 いぬ	98 とり	99 さる

背景色の白は和暦の区切りです。

背景色の黒は和暦の区切りです

厄年とは

一生のうちで何らかの困難に遭遇する恐れが多い年齢をいいます。厄除けをするにあたり、一年の無事を願い御礼に身代わりになっていただき、その罪いを少しでも小さくすることが出来ます。

星祭とは
人は生れ有し
三月三日にそ
等を願ひ、鐘分
この日まで
國事を修し
勅札授けは

お彼岸と

人は生れ有した日その星に障りがあるとき、毎星
3月3日にその星の厄を取り除く「厄除開運・安運
等を願ひ、御分厄除開運祭」を修す。

この日までに申し込まれた御礼を手書きし、御領が
護摩を修し、護符・御札を授け、事申中込された方の
御札授けは3月5日からとなります。

盆供養とは
7月13日・15日・8
月・精霊の滅罪と料
お仏壇の前になす
などをお供えし。
もてなし供養を三
年7月15日に初め

7月13日・15日・8月13日・15日を「お盆」といいます。お盆の減額と増額の為に修する。

お仏壇の前になす(牛)・な(ウ)・ウ(里)・里(一)・一(種)のある果物などをお供えする。この時期に焼つてこられる「先祖を祀りて」を「お盆」といいます。日本では流石に天皇が「お盆」に参拝する。お盆は15日に初めて行つたとされてゐます。

施餓鬼とは

總先遣(眞りの世勢)に浴した怨鬼の血に、詭術
飲食を施す善根功徳を以て供養す。

私たちが生きるために毎日食す飼養されることのない生き物や亡き人々の誠意と福の為に培養を導くとして、年一度飼養を行う法会です。毎月8月第1日は福と健康に行われます。

「厄」は豆をまいて寺で落としましょう

せつ ぶん 「厄除」祈禱会

平成30年2月3日土 ●受付:各回10分前より
●時間中、まかれた豆を西山本堂内(外陣)にてお受けいただけます。(無料)

時間	特別祈禱 ①	厄除祈禱 ②③④	時間	特別祈禱 ①	厄除祈禱 ②③④	時間	特別祈禱 ①	厄除祈禱 ②③④	時間	特別祈禱 ①	厄除祈禱 ②③④
10:00		●	13:00	★	●	14:40		●	18:00	★	●
10:20		●	13:20		●	15:00		●	18:20		●
10:40		●	13:40		●	15:20		●	18:40		●
11:00	★	●	14:00	★	●						
11:20		●	14:20		●						

節分「厄除」祈禱会の流れ



御祈禱を受ける

▼節分「厄除」祈禱会(要申込)



▲ご自由に参加いただけます(無料)
豆をまいて「厄」を落とす

八事山僧侶一同、
一心に皆様の開運厄除を
祈願させていただきます。



暮らしや仏教ならではの1年の節目…
自然との関わりに基づく1年の節目…

それが「節分」です!

星祭は季節の分かれ目とされる節分(または冬至)のときに行わなければならないのか、実はさまざまな文献資料を紐解いても明確な定義がありません。

しかし、人間の生死や自然界の成り立ちが、月の満ち欠けや潮の干満と密接に関係しているように、大自然に生きる我々は、万物の繋がりとバランスのなか、日々の暮らしを営んでいます。

お盆やお彼岸の考え方が自然の営みと仏教思想が結び

ついて成立したように、「星の巡りという自然界との関係性」を改めて認識する為の「星祭」という大切な仏事が、四季の変わり目となる節分(または冬至)に行われることとなった…というのは、ある意味自然な成り行きと言えるでしょう。

したがって、私ども興正寺でも、節分厄除と星祭御札祈禱をこの季節に厳修いたします。

2 お近くの郵便局で
・振込
・各申込書の発送
手続きをする。

3 手続き完了

来寺の場合

節分「厄除」祈禱会

特別厄除祈禱 平成30年 1月20日(土) 締切
宿曜厄除祈禱・厄除餅 …… 当日まで可(予約優先)
一般厄除祈禱 ……

星祭「開運」祈禱札

平成30年 1月31日(水) 締切

1 各申込書に記入する。



2 納経所にて次の手続きを行う。
・申込書持参
・申込金額支払



3 手続き完了

1年間 家でお祀りし 災いを引き受ける御札

星祭「開運」祈禱札

平成30年2月5日(月)から3月5日(月) 9時～17時の受け取り

星祭は宿曜経という密教占星術の教えです。

9年ごとに回ってくる星によって吉凶が決まるものです。

御札に一人ずつ、お名前と数え年を書き、法会を勤めることで、身代わりの御札になります。

ですので、一人に一体の御札をお持ちいただくことが大切です。

よい年はよりよく、悪い年は少しでも災いを軽くすることが目的です。



興正寺の御札は一体一徳侶の手作り

裏面の年齢早見表で自分の星回りをチェック!

III 星祭御札祈禱会のご参加について

真言秘奥の「星祭御札祈禱会」は、一人一人に定められた星を供養し、開運厄除を願い、年に一度だけ修法される特別な法会です。その法会の成り立ちから、當山では一般の方の参拝が制限されていますが、1万円以上の「星祭開運祈禱札」をお申込みいただいた方(御本人のみ)は、当法会(御焼香等)にご参加いただけます。

日程 平成30年2月3日(土) 19時～(約2時間) ●お食事・星茶・法話の御接待あり。
●後日、該当の方へ當山より別途ご招待申し上げます。

御札とは

自身に厄があたる前に御札に受けてもらい、少しでも小さくしていただくのが御札です。興正寺の星札にはいろいろな種類があり、大きなものや小さなもの、木札や紙札などがありますが何が違うのでしょうか?

これに関し諸説ありますが、これは想いの表れです。お守りいただく仏さまに対しての感謝の気持ちが御札に反映しているのではないかと思います。

また、自身に全く厄がない年でも厄を受けてしまう人がいます。家族の方がはじいた厄を受けてしまう人です。家族が御札ではじいた厄を受けてしまうことがあるからです。

自身が厄のない年であっても御札(星祭開運祈禱札)をお持ちになり開運厄除を願うのがよいでしょう。



例えば、ご家族の一人が厄年の場合、その人が御札をもっていても、そこではねられた厄の一部が他の人にあたると言われています。「家族で御札をもつ」にはそのような意味があります。

申込方法

振込または、来寺(受付:納経所)にて

お電話での申込みは
お受け出来かねますので、ご了承ください

振込の場合

平成30年1月20日(土) 締切

※補償がございませんので、
現金の郵送はご遠慮ください。

1 各申込書・振込用紙・返信用封筒に記入する。各申込書は返信用封筒に入れる。



※「節分」のこの部分と「星祭」の3枚目は切り取ってご自分の控えとしてお持ちください。

八事山歳時記

家族で楽しむ紅葉まつり

本年も「紅葉まつり」が境内でにぎやかに行われ、同時開催された「古本供養市」では、役目を終えた本を丁寧にご供養させていただき、新たな持ち主のもとへ旅立っていきました。いりなか会場(共催)いりなか商店街発展会)も多くの方が訪れ、盛況の中幕を閉じました。



はつ雪茶会

初雪とは、その年はじめて降る雪のこと。彩に華やいだ秋が終わり、慌ただしく人が行き過ぎる冬の口に、ちらちらと舞い落ちる雪。急いでいる気持ちを整え、ほっとひと息いれる時間は得難いものです。

今年一年を振り返り、ご縁をいただいた皆さんに感謝を伝える機会として、十二月六日に「はつ雪茶会」を催しました。



三千の仏の名号を唱える

三千仏名会

十二月一日〜五日に、三千仏名会が厳修されました。一年間の罪を懺悔し、過去・現在・未来の三千仏の名号を唱え、礼拝する修行です。両手・両膝・額を地面に投げ伏して一心に礼拝を繰り返します。開白・結願以外は参加自由だったこともあり、共に修行をする一般参拝者の姿も多く見られました。



阿弥陀さまと御縁を結ぶ

奥之院大祭

去る十一月十五日、東山本堂(奥之院)にて、大祭のお勤めが行われました。通常の善之綱(ぜんのこう)おくりのほか、大祭ご縁日だけの特別祈禱も行われ、参加された皆さまにはより深いご仏縁を結んでいただけた一日となりました。



一年の終りに、仏さまを美しく 大日堂すす払い

去る十二月八日、大日堂にて「すす払い」が行われました。総本尊・大日如来さまの一年間のすすを皆さま力を合わせて払い、感謝の気持ちをお伝えしようと、大日堂には寒い中多くの方が参拝されました。



七難即滅
七福即生

なごや七福神めぐり



お正月といえば七福神めぐり!

大人気のおめでたい神さまたちを
めぐって、新しい年にたくさんのお福を
呼び込みましょう!

なごや七福神をお祀りする七つのお寺
は、どこも由緒あるすてきな寺ばかり。
七福神さまだけでなく、どんなお寺なの
かきちんと知っておけば、お参りの時の
喜びもどんふくらみますよ!



笠覆寺 (りゅうふくじ)

「商売繁盛 恵比須さま 笠寺観音」

※恵比須さまは本堂右、護摩堂にお祀りされています

【寺院データ】

●正式名称・住所 天林山笠覆寺
名古屋市中区笠寺町上新町83

●本尊/十二面観音(秘仏)

●開創・開基(開山) 天平五年(733) 善光上人

●略歴

奈良時代、海から流れ着いた輝く霊木から掘り出された観音をお祀りする。平安時代にはこの観音が男女の仲を取り持った縁結びの伝承もあり、その故事にちなんで「笠寺」と呼ばれている。

【お寺よりひとこと】

◎七福神巡りをする人に

七福神さまにご利益をお願いするばかりでなく、ぜひそれぞれの神さまについて知っていただき、そのお徳を見習ってください。それぞれの福の神さまになりきって、にこにこ顔でお参りをすれば、きっとそのお徳をいただけることでしょう。

◎正月の特別行事、見どころなど

特に商売をなさる方や開運を望まれる方に、「えびす大黒」の大きな御札を正月にお求めになることをおすすめします。



▷本堂
寺紋は縁結びの観音に由来する「笠」

興正寺 (こうしょうじ)

「不老長寿 寿老人さま 興正寺」

※寿老人さまは本堂内、右奥にお祀りされています

【寺院データ】

●正式名称・住所 八事山興正寺 名古屋市中区八事本町78
●本尊/大日如来(大日堂・総本尊)

●開創・開基(開山) 貞享二年(1685) 天瑞圓照和尚

●略歴

江戸初期に徳川光友の帰依を受けた天瑞によって、真言と律の寺として開創。明治まで女人禁制だった東山境内は学問・修行の寺として多くの僧侶が集う。五重塔を中心とする西山境内は、尾張徳川家祈願所として、同時に庶民にも開かれた信仰の寺として多くの人に親しまれてきた。

【お寺よりひとこと】

◎七福神巡りをする人に

数々のお堂と多くの仏さまたちが祀られています。広い境内をゆつくりとお参りしてください。干支の守り本尊など、ご自身と縁の深い仏さまに出会えますよ。

◎正月の特別行事、見どころなど

(正月三が日)初護摩祈禱会/新年初遊び・(正月五日)大般若転読祈禱会



▷五重塔と釈迦牟尼大仏

宝生院 (ほうしょういん)

「諸縁吉祥 布袋尊さま 大須観音」

※布袋尊さまは本堂内左奥にお祀りされています

【寺院データ】

●正式名称・住所 北野山真福寺宝生院 名古屋市中区大須2丁目21番47
●本尊/聖観世音菩薩(弘法大師により彫られた四天王寺に祀られていたお像)

●開創・開基(開山) 元弘三年(1333) 能信上人

●略歴

後醍醐天皇が現・岐阜県羽島市大須に創建した北野天満宮の別当寺がはじまり。後醍醐天皇の皇子、後村上天皇により勅願寺とされる。清須越しで徳川家康により現在地に移動。日本三大観音のひとつ。

【お寺よりひとこと】

◎七福神巡りをする人に

布袋さまは諸縁吉祥、縁結びの神さまで。ご本尊さまにお参り頂いた後は是非ご参拝ください。

◎正月の特別行事、見どころなど

元朝護摩、除夜の鐘(元日0時より)新年開運初護摩祈禱会(二月二日より三日 午前10時より午後五時まで随時)



▷本堂大提灯

福生院 (ふくしょういん)

「七福即生 毘沙門天さま 袋町お聖天」

※毘沙門天さまは参道右奥、手水鉢裏側にお祀りされています

【寺院データ】

正式名称・住所／如意山福生院
名古屋市中区錦町2丁目5番22●本尊／大聖歓喜天(通称・お聖天)
●開創・開基(開山)／至徳三年(三三八六) 順譽上人
略歴

南北朝時代、現・名古屋市中村区に建立され、貴賤を問わず厚く信仰される。徳川家康の清須越えによって現在地に移転。昭和二十年の空襲によって罹災するも、尊天の加護によりすみやかに復興、現在に至る。「現世利益の根本道場」として広く信仰される

【お寺よりひとこと】

◎七福神巡りをする人に

お聖天さまはどんな年代の方の願いでも聞いてくださいます。毘沙門天だけでなく、本堂でもしっかりと拝んでみてください。

◎正月の特別行事、見どころなど

新年大浴油供が元旦より七日まで動きます。朝十時より、どなたでもお参りください。

▷香炉および建屋
「二股大根」と「巾着」はお聖天さまへのお供え

宝珠院 (ほうしゅういん)

「開運招福 大黒天さま 宝珠院」

※大黒天さまは本堂内、右側にお祀りされています

【寺院データ】

正式名称・住所／如意山常樂寺宝珠院
名古屋市中川区中郷1丁目11●本尊／薬師瑠璃光如来
別尊／願かけ不動明王 厄よけ弘法大師
●開創・開基(開山)／天平元年(七二九) 泰澄大師
略歴

奈良のいにしえに薬師瑠璃光如来をお祀りして以来、約千三百年、法灯の絶えることのない郷土最古の寺。かつては山内に六坊あった。境内三千坪全域が名古屋市の緑地保全特別指定地区に指定されている。

【お寺よりひとこと】

◎七福神巡りをする人に

開運招福を願って参拝して頂ければ七福即生 七難即滅が叶うと言われます。

◎正月の特別行事、見どころなど

正月二十一日が初弘法、正月二十八日が初不動です。



▷庭園

辨天寺 (べんてんじ)

「福徳自在 辨才天さま 多加良浦 辨天寺」

※辨才天さまは本尊として本堂にお祀りされています

【寺院データ】

正式名称・住所／竹生島名古屋別院寶生山辨天寺
名古屋港区多加良浦町4丁目278番地の1●本尊／八臂辨才天
(彦根城主井伊直弼が天守閣で安置し信仰していたお像。
琵琶湖の竹生島に奉納された後に当寺へ)●開創・開基(開山)
大正十四年(一九二五) 船戸覺音上人
略歴

大正時代に周辺地域の埋立・区画整備事業を成した服部善之助惟信の一人息子の菩提を弔うために建立。当時は辨天寺を中心に商店街や電車なども走り、地域の中心地だった。

【お寺よりひとこと】

◎七福神巡りをする人に

信仰の寺として気軽にお参りいただけるように山門はありません。芸事上達のほか、身体健全や家内安全のためにお参りなさる方も多いです。

◎正月の特別行事、見どころなど

正月二日から七日のみ、井伊家伝来の御本尊辨才天さまを御開帳いたします。

▷屋根瓦の「波に鬼」は謡曲
「竹生島」に由来

萬福院 (まんぷくいん)

「延寿福楽 福祿寿さま 成田山萬福院」

※福祿寿さまは本堂右手前、弘法堂にお祀りされています

【寺院データ】

正式名称・住所／成田山萬福院
名古屋市中区栄5丁目26番24●本尊／不動明王(丈六の大仏)、四大天王
●開創・開基(開山)／慶長年間(五九六―一六二五) 重秀法師
略歴

清須越しで慶長年間に名古屋・栄(現・ラシックの場所)へ。大正年間に千葉の成田山新勝寺より不動明王のご分身を本尊として迎え、名古屋分院となる。平成十四年、現在地へ移転。丈六の不動明王を新たに迎える。交通安全祈禱で有名なお寺。

【お寺よりひとこと】

◎七福神巡りをする人に

本堂はいつでも開いています。色々な仏さまも拝んでご縁をお結びください。周囲には古き良き商店街や栄のお店もあります。ご散策ください。

◎正月の特別行事、見どころなど

元朝大護摩祈禱会(元日朝0時より)・新春大護摩祈禱会(正月二日〜七日、朝9時〜午後4時まで 毎時)・節分会(二月三日)・著名人の豆まきあり

▷五色の縄は本尊さまの手から
本堂正面まで繋がる

人と街とお寺をつなぐ場所
 八事山文庫
 地域版

睦月 むつき
 旧暦二月のこと
 親族一同集って宴をする
 「睦月」ともいわれる。

小寒 しょうかん
 一月五日
 冬至から数えて十五日目頃、冬至と大寒の中間。

大寒 だいかん
 一月二十日
 寒さがさらに厳しくなり、一年中で最も寒い時期。

ひと
 八事エリアの安全をしつかりと守り、
 みんなが安心して暮らせる住みやすい街に。

昭和警察署八事交番配属 巡査長 深田 妹さん

興正寺の参拝者駐車場に隣接している本格子をあしらったモダンな建物がある。「見おしやれなカフェ」にも見えるその建物が八事交番だ。今回は、八事交番に勤務し、八事エリアの安全を守る巡査長・深田 妹さんにお話を伺った。

「広い興正寺のすぐ前にあるので、参拝にいられた方と接する機会も多く、いろいろお話する中でこの地域の私もまだ知り尽くせてない細かい情報を得ることもあり、身の引き締まる思いがします。」と語る深田さん。「警察というだけで身構えられてしまう場合も多いので、口頭から頻りに家庭への訪問を行ったり、なるべく外に出て出会うた人にお声を掛けたりしながら、親しみやすく相談しやすい立場にいることを意識してい

ます。」と語った。八事交番の管轄地域は、名古屋市内の中でも治安情勢は比較的安定しているが、人通りや交通量は多く、犯罪の発生件数は昨年と比べ七件増加しているという。「二〇一七年十二月十日現在」特に駐車場における車上ねらいと、県道での人身事故が増えているのだそうだ。深田さんは「警察としては、巡回パトロールや、悪質で危険な運転をする交通違反者の取締りを強化しています。また、家庭への訪問の際に『こんな事件や事故が増えているので気を付けてください』という呼びかけと、『車内に物を置きっぱなしにしない』『車に警報装置を付ける』『シートベルトを必ず装着し安全運転を行う』といった具体的な防犯・交通安全広報を行っていま

す。」と話した。こういった日常の活動以外にも、興正寺で行われる春まつりでは昭和警察もブース展開をし、遊びに来た子どもたちを通じて防犯や交通安全を広く呼びかけている。

「八事地域は、興正寺以外にも多くのお寺や神社があり、大学や高校も数多くあるので、お年寄りから若者まで幅広い年代が集まっています。そんな皆さんが共存し、安心して暮らせる街になってほしいと思っています。そのためには、八事交番を拠点とし、今後もパトロール活動をはじめとする警察活動にしっかりと取り組んでいきますので、地域の皆さんのご理解とご協力をよろしく願います。」と、地域の安全を守る強い意志を瞳に宿しながら、素敵な笑顔で話してくれた。



△2012年にはグッドデザイン賞・2014年には第21回愛知まちなみ建築賞を受賞した八事交番。



△24時間態勢で八事交番に駐在し、街の安全を守っている。



●深田 妹さん
 2017年3月、八事交番に配属。地域の方と積極的に交流し、自らチラシを制作するなど工夫しながら防犯や交通安全などの意識強化を図っている。

親子で読みたい
 ことのは
 あそび

「身口意」。身体・言葉・心、この三つを同時に高めていくことが大切だというお大師さまの教えの一つです。このコーナーでは、声に出して誰かに聞かせてあげたい言の葉たちを毎月ご紹介していきます。

子供たちよ。
 これはゆすり葉の木です。
 このゆすり葉は
 新しい葉が出来る
 入り代わってふるい葉が落ちてしまつのです。
 こんなに厚い葉
 こんなに大きい葉でも
 新しい葉が出来ると無造作に落ちる
 新しい葉にいのちをゆすつて――。

(中略)

今、お前たちは気が
 附かないけれど
 ひとりでのいのちは延びる。
 鳥のやうにうたひ、
 花のやうに笑つてゐる間に
 気が附いてきます。
 そしたら子供たちよ。
 もう二度ゆすり葉の木の
 下に立つて
 ゆすり葉を見るときが来るでせう。

「ゆすり葉」 河井醉茗



ユズリハは譲葉。若葉が出たあと、前年の葉がそれに譲るように落葉することから、家が代々続いていくようにと願いを込める縁起物とされます。親から子、その子が親となり、また子へと託し託され続いていく生命の営みが柔らかに表現されています。
 河井醉茗(一八七四―一九六五)は大阪府堺市出身の詩人。記者として雑誌の詩欄を担当し、北原白秋らを見出して昭和期の詩の発展に尽力しました。

慌ただしく月日が過ぎていきます。特に、秋の風情がピークを迎える日を計っている内に、気がつけば紅葉は終わり、すっかり冬景色なんて事も。冬が来たことを実感する冷たい風に身を縮めている内に、今度は新年を迎え、目の前に「春」の文字が行き来します。一日と

季節は移ろい、新たな、そして大切な一年がやってきました。年をまたいで元氣な花は、四季桜。十二月頃から咲き始め、春三月まで可憐な花が見られます。そしてギョリウバイの赤い花。小さいけれどとても生命力に満ちあふれた姿を見せてくれます。寒さの中に次々と花を咲かせる椿や、出番を待っている梅の木に導かれて、生命

力あふれる竹林へ足を踏み入れると、年末に社が新しくなった「吐月宮」へ行き着きます。命の不思議と逞しさに触れて頂ける、興正寺の小さなかわいい神社です。本堂での参拝が終わったら、ぜひこの吐月宮へ来てくださいいね。良い縁を結び、家庭円満の神様が微笑んでくれますよ。(井上)



ギョリウバイ

昨日 今日 あした

●甘味・食事処「八琴庵」より

5・13・21日限定

季節のそば(1月) 紅白蕎麦



形が初日の出に似ているかまぼこは、赤色は魔除け、白色は清浄を表します。壮健の願いを込めたいたけも添えました。縁起物のお蕎麦を食べて、良い一年に。

お知らせ
掲示板

八琴庵 営業時間と定休日のお知らせ

営業時間 10:00~16:00 (L.O.15:30)

定休日 毎月5日を過ぎた火曜日1月は1月9日(火)、2月は2月6日(火)です。

@FM80.7に、知っているお店が登場するかも?! 八事山興正寺の提供でお送りする FM 番組!

笑顔とシアワセをおすそわけ

黒江美咲のふらっと街巡り

毎週日曜
10:55~11:00

素敵な街にはその街の記憶を語る先人がいて、その話を聴いて育った、地元を愛する人がいて、その街に惹かれて集まる人がいて、街の歴史に新たなページが加えられます。そんな「もつと」と地元を好きになってほしい」という想いから生まれた八事山興正寺提供の番組です。

パーソナリティ：黒江美咲

12/3 nudeR 八事(ヌードアールヤゴト)
TEL.050-5570-6271

隠れ家的な八事唯一の肉バル。珍しい銘柄のお酒も取り揃えています。

12/10 ベーカリーレストラン・サンマルク 雲雀ヶ岡店
TEL.052-834-1309

焼きたてパンとピアノの生演奏で大切な時間をおもてなし。クリスマスメニューも登場。

12/17 両口屋是清 八事店
TEL.052-834-6161

立礼式のお茶室でお抹茶を。和菓子職人のお菓子作りも見学できます。

ラジオは右記のページからお聞きいただけます。 <http://fma.co.jp/f/prg/machimeguri/>

仏事の

ひふみ



お坊さん ひふみちゃん

仏事のこと、なんでも知ってるよって人はいますか?

自信をもって手を挙げられる人は少ないんじゃないかな。いざその時になってみないとわからない仏事のあれやこれ、お坊さんに聞いて一つずつ解決しちゃいましょう。

その36 厄年のおはなし① 数え年(全3回)

ひふみちゃん、「数え年」って知っている?

1月23日です!

かぞえどし??

年齢の数え方の1つだよ。普通、年齢といえば生まれた時を「0歳」にする「満年齢」。お誕生日が来たら1歳増えるよね。それに対して「数え年」は生まれたときが「1歳」。それからお正月が来るたびに1歳ずつ増えていくんだ。ひふみちゃんは誕生日いつ?

では生まれたときの1月23日が1歳。次のお正月には、もう2歳になります。3月生まれの子も、12月生まれの子も、生まれて1年たっていないけど次のお正月にはもう2歳。数え歳はこういう数え方をするんだよ。

興正寺ホームページではもっと供養のことがわかつちいます。トップページから、「仏事とお墓のお悩み解決」をクリック!

寺宝

通心

寺宝公開②8 峰上萬年松



新年を祝うにふさわしい言葉は多々あるが、それらによく登場するのが「鶴亀」や「松」である。これらが幾久しく続くことでめでたさを表すのに、「萬年」という語が添えられることがある。ここで紹介する一行書にも見られ、その出典は、建中靖国元年(一一〇一年)に仏国禪師惟白が編纂した禪宗史伝書の二つ『續燈録(建中靖国續燈録の略)』にある「開堂日。問。為國宣揚闢祖闢。九重城裏顯光輝。人人聳聽真消息。未審如何贊萬機。師云。千歲鶴鳴華表柱。萬年松在祝融峰。」であろう。

萬年松在祝融峰(萬年の松、祝融峰に在り)

祝融峰は、中国湖南省の西北にある衡山の最高峰で、中国の伝説上の人物で、火の神、夏の神、南方の神とされる祝融を葬ったことからこの名がつけられたと伝えられ、南山と同じく霊峰である。その峰には、幾久しく青々とした葉がしげる松があるの意。

これは昭和初期の僧 快運師の書で、書かれた背景を考察してみる。

建部快運師が住職をつとめた鴨江寺は浜松市にあり、観世音菩薩をお祀りする真言宗の寺院である。昭和二〇年(一九四五)六月一八日、浜松市を狙った艦砲射撃と焼夷弾により、諸堂伽藍すべてが灰燼に帰した。快運師はその復興に尽力し、見事成し遂げた。

強い意志と行動力を示した快運師。禅語として書かれたというよりは、峰上の松は「法燈」で、それが永遠に絶えることなく繋がっていくものであることをしるしたのではないだろうか。

(川村)



△峰上萬年松

*普門園拝観 五百円(早茶付)
拝観券は「納経所」でお求めいただけます

竹翠亭で楽しむ季節のしつらい — 睦月の室礼 —

- ◆ 日 時 1月1日(月・祝)～1月8日(月・祝)
10時～16時
- ◆ 場 所 茶室 竹翠亭
- ◆ 茶 券 500円(抹茶と季節の和菓子付)
※1/1～1/4は正月菓「はなびらもち」と金粉入り抹茶

和菓子で巡る 名古屋 お茶会スタンプラリー

【開催期間】平成29年10月1日(日)～平成30年1月31日(水)

昨年10月から開催している「お茶会スタンプラリー」。お茶どころ名古屋にある11施設のお茶室で開催される茶会に参加し、スタンプを集めると、素敵なプレゼントに応募できます。

開催情報は下記でご確認ください

- 観光案内所に設置のチラシ
- 参加施設へのお問い合わせ／
桑山美術館・興正寺・昭和美術館・白鳥庭園・鶴舞公園・徳川園・富部神社・東山荘・
揚輝荘・文化のみち櫓木館・古川美術館
- 公式facebook/
<https://www.facebook.com/japanese.tea.party.stamp.rally.in.nagoya/>



竹翠だより

お茶が教えてくれた
しあわせ

一陽来復

初春のお慶びを申し上げます。
一陽来復、新年を祝って年頭に喫するお茶は災いを除き、病が去る効能があるものとして、大福茶とも言われます。日頃は喧騒から離れ、静かな時をお過ごし頂ける竹翠亭も、初詣のお参りにいらした方々で大層賑わい、新年の華やかさにあふれます。

お正月らしさが年々失われつつありますが、竹翠亭では新年の室礼で皆さまをお迎えします。室礼をお楽しみいただけるのは、元旦から八日までで、門には門松、玄関には花もちが飾られ、茶室の床にはめでたい軸を掛け、竹林から切り出された青竹の花入れには結び柳が活けられます。

柳は青々とした生命感、常盤の翠、さらなる健康と若さを表すとされ、長い柳を輪に結ぶことから無事に回転して旅中の平安を祈るとも、冬が終わり春がくる新年を喜ぶ「一陽来復の季節が何度訪れることを願うともされます。また、結びは生ず、産すにつながり、去年と今年を結ぶ意味もあります。

元旦から四日まで、正月菓はなびらもちと金粉入り抹茶で一服して頂きます。「はなびらもち」は、宮中のお雑煮がこの形になったものに由来し、中にごぼうが入っています。これを楽しみに毎年お越し頂く方も多く、お子さまから幅広い年代の皆さまに新年の大福茶で笑顔を頂戴しております。

どうぞ新年の一年に、竹翠亭へお越しください。皆さまの今年一年のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

寺通

その四十三

たかのしょうせい
高野 正清

一月号と書かれておりますが、この文章を記している今はまだ年越しをしたわけではございません。年末ともなれば年越しの準備に年初めの用意、本当に目も回るような忙しさを味わうこととなります。正月とは年神さまやご先祖さまが我が家にやってくる、とても大切な日です。やはり日本人であるならば、昔から続くお正月飾りの用意も抜かりなく行いたいものです。今回は正月飾りについてお話をしていきたいと思ひます。

◆◆正月飾り◆◆

「正月飾り」とひと言で言いましても、色々な物がござひます。鏡餅、破魔弓、しめ縄、宝来、玉飾り、花餅、羽子板など、調べればたくさんのが出てきます。現代にも色濃く残っているのが「宝来・鏡餅・破魔弓」ではないでしょうか。宝来は福を招き、新しく来ていただく神さまの目印となり、鏡餅はお越しいただいた神様に座っていただく為の座布団になり、破魔弓は一年の好運を射止める縁起物として初詣の際に授与いたします。準備をするに当たり、二十九日は「苦が待つ(末)」ということから避けられ、また三十一日では「一夜飾り」となつて神様に大変失礼とされています。慌てて準備をしなくていいように準備をして新年を迎えましょう。



△興正寺の正月飾り

古くて新しい縁結びと家庭円満の月神さま

とけつのみや
吐月宮

かつて興正寺境内には神と仏の座す、吞海峯と吐月峯という二つのお山がありました。

吞海峯の頂には、尾張徳川家二代光友公が、亡き母への法恩と深い愛情を、大日如来というこの世の全てを照らす太陽のごとき仏に託して祀りました。

対する吐月峯はその頂に神秘なる月の神を祀り、大地とその命の恵みに感謝し、幸せを祈りました。明治になるまで、人々はこの山に入ることには許されず、遠くよりこの二つの峯を、信仰の拠り所として感謝と祈りを捧げました。吐月峯は今はなく、東山鎮守社として大日堂の脇に現存しています。

かつての壮麗さはないですが、この度、良縁成就と家族円満を祈る月の神社として、この「吐月宮」が新たに西山境内地に分社されました。竹翠亭へ向かう途中の竹林に、小さく鎮座しています。手水鉢は「あわせての水」といって、合掌、つまり「合わせ手」(逢わせて)の水なのです。身を清め、鳥居をくぐり、小さな社に参拝ください。それから、社の台座にそつと手を添えて巡り、満ちていく月のお力をいただいでください。また、この地は興正寺屈指の眺めです。花々と自然の風に身をゆだね、一息ついてください。

仏と神と、自然と人との縁を固く結ぶ、それこそ、ご縁が無ければ参拝できない特別なお宮です。ぜひ、探してお参りしてみて下さいね。

(井上)



1月の興正寺講座

※日程・会場は変更する場合がございます。事前にお電話にてご確認ください。

仏讃歌

御詠歌上級

講師 鈴木隆弘

1月11日・19日 13時30分より

光明殿

金剛流御詠歌の上級者向け講座です。

御詠歌初級

講師 鈴木智弘

1月7日・16日・21日 14時より

光明殿

金剛流御詠歌の初級講座です。21日は本堂出仕。

御詠歌入門

講師 鈴木智弘

1月6日・20日 14時より

光明殿

金剛流御詠歌の超入門、お作法や符の読み方からはじめます。

体験する

阿息観(密教禅)

講師 杉浦宣秀

1月10日・20日・30日 14時より 普照殿/奥之院

ストレスゼロをモットーに、毎月ゼロの日(10・20・30)にやっております。誰でも心地よくリラックスできますよ!

阿字観

講師 杉浦宣弘

今月はお休みです。

奥之院

真言密教の基本的な瞑想法です。阿息観で基本的な呼吸法を習得してから受講することをお勧めします。

写経・写仏

講師 榎田英伸

1月21日 11時より

光明殿

毎月21日マルシェの日に行われる、写経写仏の体験です。どなたでもご参加いただけます。13時より法話あり。

学ぶ

仏教入門講座

講師 森田泰澄

1月25日 14時より

普照殿

難しい用語を使わず、お経を中心に勉強していきます。脱線話も多いので気楽に参加できますよ。

仏典読み解き講座

講師 榎田英伸

1月18日 10時より

普照殿

仏典(仏教典籍)とは、仏教における権威ある書物のこと。ここでは、地獄極楽の古典的名著『往生要集』を読み解いていきます。

健康づくり

TERA-YOGA (寺ヨガ)

講師 西口のぞみ

1月21日 10時より

普照殿

支具料2,000円(要予約・メ切前日17時)

マタニティヨガ

講師 西口のぞみ

1月21日 13時より

普照殿

支具料2,000円(要予約・メ切前日17時)

ゆらゆらペアストレッチ

講師 町田一寿

1月13日 10時より/11時30分より 普照殿

支具料1,000円(予約優先・当日参加可)

遊翠の心

茶室・竹翠亭にて行われる少人数制の講座です。時間や講座内容については、竹翠亭へお問い合わせください(全て要予約)。

写経

1月9日

講師 西山海良

支具料1,500円

阿息観

1月23日

講師 西山海良

支具料1,500円

日々折々の書

1月22日

講師 中村 均

支具料2,000円

水墨画

1月26日

講師 山田静舟

支具料2,000円

きもの装い(入門・応用)

1月17日

講師 小泉美代子

支具料2,000円

茶の古典を読む

1月11日

講師 榎田英伸

支具料1,500円

御詠歌上級・初級を除くすべての講座でWEB予約が可能となりました。興正寺公式ホームページ「まなびの講座WEB受付」よりお申し込みください。

八事今昔物語

～そこにお寺のある暮らし ⑤～

年末年始になりますと、新しい年齢早見表が準備されます。この時期よく訊ねられるのが、例えば平成30年1月生まれの赤ちゃんの干支が酉なのか戌なのか、です。節分を過ぎないと前の年、という考え方が残っていて、確かに旧暦が今でも続いていたらこの赤ちゃんは酉年になっちゃいます。お寺や神社によってはこの差を考える所もあるようですが、當山ではこの一ヶ月近い差は、むしろ仏様からのプレゼント(酉の守り本尊不動様と戌の守り本尊阿弥陀様が二段構えで護ってくださるのですもの!)だと考えて、現在の暦通り、1月1日生まれでも戌年とします。また、お寺では事あるごとに「数え年をお書き下さいね～」と言われます。「プラス1才?いやあねえ

(笑)」という反応が常の、特に女性の反応ですが、これは仏様から命を頂いたところから数えましょう、という考え方からだと思っておきましょうか。江戸時代までは正月を迎えると一つ年を取るとしていたので、今のように誕生日を祝うという習慣は、新暦と共に広まったようです。

月を中心に考える旧暦は、太陽と共に月が命に与える影響を、ちゃんと古の時代から知られていた証拠です。興正寺では、太陽の仏と月の神の、両部の信仰が存在しました。年末に新しく、里山に建造された「吐月宮」は、東山の吐月峯に祀られていた神社の分社です。太陽と月、世界を回す大いなる存在が、その不思議を垣間見せてくれる暦は、まさに神仏からの智慧がつまった贈り物なのかもしれません。その不思議を細かな言葉にして表現した、我らがご先祖さまの感受性と豊かな想像力に、今更ながら驚かされる思いがします。(井上)

興正寺行事カレンダー

1月

普門園拝観(竹翠亭利用)時間 10:00~16:00
休園日(休業日)/10日(水)・12日(金)・19日(金)・30日(火)

月	火	水	木	金	土	日
1 先勝 元旦 ◎新年初護摩祈禱会 本堂 0:00 1:00 10:00 11:00 12:00 13:00 14:00 15:00 ◎合同供養会 圓照堂 11:30 13:30 16:00	2 友引 10:00 11:00 12:00 13:00 14:00 15:00	3 先負 10:00 11:00 12:00 13:00 14:00 15:00	4 仏滅	5 大安 小寒 ◎大随求明王 縁日 露店アリ 10:00 干支成満巡り ◎大般若経転読祈禱会 10:30 本堂 大随求明王	6 赤口 戌の日 ◎安産合同祈禱会 14:00 本堂 ▽御詠歌入門講座 14:00 光明殿 鈴村 智弘	7 先勝 ▽御詠歌初級講座 14:00 光明殿 鈴村 智弘
8 友引 成人の日 ◎大日如来縁日 理趣分経祈禱 12:30 大日堂 大日如来	9 先負 ▽遊翠の心 写経 10:00 14:00 竹翠亭 要予約 支具料 1,500円 西山 海良 ★八尋庵定休日 ★永代供養受付定休日	10 仏滅 ▽阿息観 14:00 普照殿 杉浦 宣秀	11 大安 ▽遊翠の心 茶の古典を読む 10:00 竹翠亭 要予約 支具料 1,500円 梶田 英伸 ▽御詠歌上級講座 13:30 光明殿 鈴村 隆弘	12 赤口 ▽初釜 完全予約制 竹翠亭	13 先勝 ◎虚空蔵菩薩 縁日 露店アリ 10:00 法話会 10:00 干支成満巡り ☆ゆらゆらペアストレッチ 10:00 11:30 普照殿 虚空蔵菩薩	14 友引 ◎合格祈願会 14:00 能満堂
15 先負 ◎東山 奥之院縁日 13:00 奥之院 善之綱おくり 阿弥陀如来	16 仏滅 ▽御詠歌初級講座 14:00 光明殿 鈴村 智弘 ★永代供養受付定休日	17 赤口 ▽遊翠の心 きもの装い 初級10:00 中級13:00 竹翠亭 要予約 支具料 2,000円	18 先勝 戌の日 ◎観世音菩薩縁日 13:00 観音堂 護摩祈禱/法話 ◎安産合同祈禱会 14:00 本堂 ▽仏典読み解き講座 10:00 普照殿 梶田 英伸 観世音菩薩	19 友引 ▽御詠歌上級講座 13:30 光明殿 鈴村 隆弘	20 先負 大寒 ☆一日修養会 10:00 光明殿 要予約 ▽御詠歌入門講座 14:00 光明殿 鈴村 智弘 ▽阿息観 14:00 普照殿 杉浦 宣秀	21 仏滅 ◎弘法大師縁日 10:30 弘法堂 初弘法 授戒 ◎月並御影供 14:00 本堂 ▽写経写仏講座 11:00 光明殿 ▽御詠歌初級講座 14:00 本堂出仕 ☆TERA-YOGA 10:00 普照殿 要予約 ☆マタニティヨガ 13:00 普照殿 要予約 弘法大師 興正寺マルシェ
22 大安 ▽遊翠の心 日々折々の書 10:00 竹翠亭 要予約 支具料 2,000円	23 赤口 ▽遊翠の心 阿息観 10:00 14:00 竹翠亭 要予約 支具料 1,500円 西山 海良 ★永代供養受付定休日	24 先勝 ◎地藏菩薩縁日 13:00 能満堂 大数珠おくり/ 紙芝居 ◎成道会 14:00 本堂 13:45 より法話 地藏菩薩	25 友引 ▽仏教入門講座 14:00 普照殿 森田 泰澄	26 先負 ☆文化財防火デー 10:00 五重塔前 ▽遊翠の心 水墨画 14:00 竹翠亭 要予約 支具料 2,000円	27 仏滅	28 大安 ◎不動明王縁日 14:00 不動護摩堂 護摩祈禱/法話 ◎合格祈願会 14:00 能満堂 不動明王
29 赤口	30 先勝 戌の日 ◎安産合同祈禱会 14:00 本堂 ▽阿息観 14:00 普照殿 杉浦 宣秀 ★永代供養受付定休日	31 友引	1 先負	2 仏滅	3 大安	4 赤口

文化財
防火デー
1.26

平成30年1月26日(金) 午前10時~
興正寺 防火訓練

場所 **五重塔前** にて
ぜひ見学にお越しください